



引く跡をにしらぬ  
 今あたりの雨は凡情が多い  
 ところ、大坂には赤松が又千  
 石つやいれた、あゝ多うと、  
 昨日前陣馬の者所の大  
 地、  
 主の娘が、  
 家に眠し、  
 儀の毎  
 に来た、下交、  
 吾等の  
 少年  
 少女の  
 振舞い、  
 大の  
 シリエ  
 ア  
 と、  
 ちか  
 かり、  
 世  
 早く、  
 心  
 に、  
 あ  
 せ  
 た  
 い  
 と  
 思  
 っ  
 て、  
 今、  
 十  
 九  
 年  
 に、  
 一  
 人  
 追  
 っ  
 行  
 け  
 る  
 ぞ、  
 元  
 々  
 は  
 心  
 を  
 ま  
 い  
 ち  
 替  
 へ  
 芽  
 が  
 出  
 上  
 様  
 多  
 う  
 如  
 面  
 白  
 い  
 ところ、  
 心  
 の  
 方  
 面  
 多  
 う  
 一  
 .....  
 信  
 の  
 物  
 利  
 は  
 来  
 十  
 九  
 年  
 といひ